

史跡石垣山石垣保全対策工事業

5か年加速化対策

国土強靱化

災害時の効果発揮事例

NATIONAL RESILIENCE

概要 要：神奈川県小田原市の史跡石垣山で石垣保全対策工事業を実施。これにより、令和6年度8月25日からの大雨及び台風10号においても石垣の崩落被害は生じなかった。

対策名：97 史跡名勝天然記念物等の老朽化対策 <5か年加速化対策>【文化庁】

■ 実施主体：神奈川県小田原市

■ 実施場所：神奈川県小田原市

■ 事業概要：史跡石垣山では、平成15年の落石を契機に順次保全対策工事業を進めている。井戸曲輪南東側の石垣のうち、石垣の緩みが著しい隅石垣部分に“植生土のう”を設置。植物を繁茂させることで斜面を安定させ、石垣の崩落防止を図った。

■ 事業費：約2,200万円

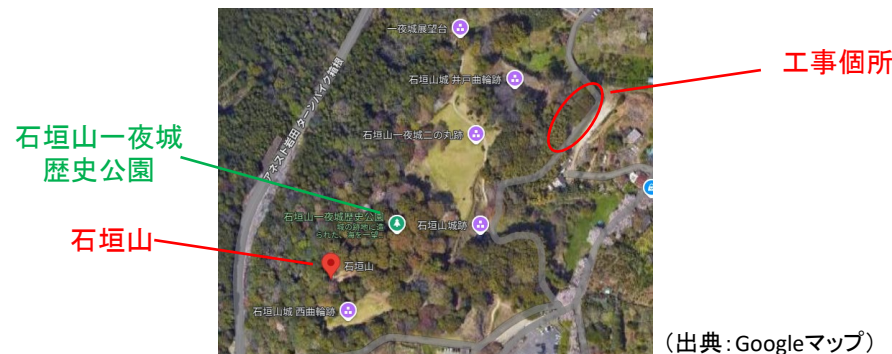
主な事業	実施内容	事業費	実施期間
石垣保全対策工事業	植生土のうによる覆い	約2,200万円	R5
うち5か年加速化対策	植生土のうによる覆い	約1,000万円	R5

■ 効果

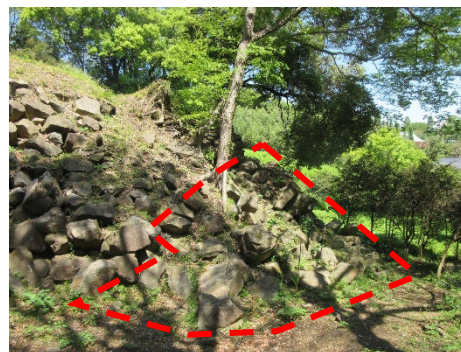
➤ 令和6年8月25日からの大雨及び台風10号に際して、小田原市では時間雨量が20mm以上の降雨を4日間記録し、そのうち2日間は、一日の合計雨量が220mmを超える豪雨となった。

➤ 小田原市内に所在する史跡のうち、史跡小田原城跡、史跡江戸城石垣石丁場跡では未対策の法面で崩落等の被害が生じたが、史跡石垣山では破損、崩落は生じなかった。これにより、文化財の価値が保護されるとともに、斜面崩落による二次被害を防ぐことができた。

上空写真



対策前



対策後



豪雨後
(令和6年9月4日)

対策工事箇所

